

2022年度 社会福祉法人シンフォニー 事業計画

法人の理念

安心を創る

－まちで働く・まちで暮らす－

利用者

者：110名
児：12名

職員

直接雇用：92名
間接雇用：3名

役員・評議員

理事：6名
監事：2名
評議員：7名

事業方針

利用者、職員が地域社会の中でともに働き・活動することにより障害理解を促進し、共生社会の実現を図る。

①適性と希望に応じた就労支援・就職支援

- B型から一般就労等への移行支援
 - 多様な働き方の機会提供と就職情報等の提供
- 目標工賃の達成による就労意欲の向上
- 就職者との紙面・WEBを活用した交流・定着支援

②感染症対策の継続

- マスク・手洗い・換気・黙食による基本対策の徹底
- 希望者に対するワクチン接種等の支援

③地域との連携による防災対策と各種地域活動

- 地域と連携した防災計画の策定と訓練の実施
- 地域活動の再構築に向けた企画・実施・参加
 - 例：ふれあい収穫祭
 - 地域行事等への参加



④社会生活力向上のための支援

- 「社会生活支援」に関する職員研修の実施
- 「社会生活支援」の実践を通じた事例発表

⑤職員の専門性向上と働きやすい職場づくり

- ホスピタリティが感じられるチームワーキング
- 専門性向上のための基礎研修の実施
 - ZOOMによる職種・役割別研修（各1回/月）

⑥入浴環境の充実・整備

- 入浴希望者の身体状況等に応じた浴室の改修
- 職員の介護負担軽減と労災予防対策

⑥役員会等の開催予定

- 理事会：5月 11月 2月
- 評議員会：6月 3月
- 福祉サービス運営委員会：6月 3月

2022年度 社会福祉法人シンフォニー 事業体系

障害福祉サービス事業

多機能型/50名

B型

就労定着支援

コンチエルト
定員50

コンチエルト

多機能型/40名

B型

生活介護

コンチエルト
もりまち
定員20

ファンタジア
もりまち
定員20

爽風館店

わさだ店

看護大店

府内店

県庁店

コンパル店

ネバーランド/施設外就労

移動支援

居宅介護・行動援護
重度訪問介護

ハルパーステーション シンフォニー

児童
発達支援

まーち♪
定員10

共同生活援助（GH） 介護サービス包括型

併設型短期入所

ファミリー森町
定員14

短期
入所
定員
2

ファミリー中尾
定員7

短期
入所
定員
3

ファミリー中尾Ⅱ
定員7

短期
入所
定員
1

地域生活支援事業

療育等
支援

かん♪

地域活動
支援センター

ファンタジア
定員25

自立生活促進支援
（短期宿泊）

五番館
森町
定員1~4


五番館
中尾
定員1~4

委託相談支援

大分市障がい者相談支援センター コーラス

一般相談

緊急相談

 あんしんコール

計画作成相談

一般相談

地域移行支援

地域定着支援

特定相談支援

児童/居宅・通所

事業目標

自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに生産活動その他の活動の機会の提供、訓練等により就労に必要な知識・能力の向上を図ります。

利用者数

定員：50名

職員配置

管理者：1名
サービス管理責任者：1名以上
生活支援員：3名以上
職業指導員：3名以上
目標工賃達成指導員：1名以上

支援計画

多様な働き方を支援することにより就労意欲を引き出し、工賃の向上を目差します。また幅広い就労訓練の機会を提供し、一般就労に向けた支援を行います。

①生産活動

- ア) 軽作業
- イ) 喫茶業務
(配食/弁当含む)
- ウ) 農業・除草・清掃業務
- エ) 販売業務
(ご縁市/ふれあい市場等)
- オ) 施設外就労
(リサイクルプラザ/モンテ/喫茶等)

②就労訓練

- ア) 軽作業
- イ) 喫茶(接客マナー/衛生/食中毒/調理等)
- ウ) 農機具・清掃道具の取扱い/危険予知
- エ) 求職活動/求職者登録
- オ) ビジネスマナー

③日常生活支援

- ア) 整容・更衣
- イ) 健康的な食選び
- ウ) コミュニケーション
- エ) 通所支援
- オ) 金銭管理
- カ) 相談支援
- キ) 健康管理

④その他の活動等

- ア) 出発式、あおぞらフェスタ、本人活動センターや育成会主催行事
- イ) 地域の行事参加等
- ウ) 収穫祭の開催

重点支援項目

①工賃の向上

※目標工賃45,000円/月/人以上
【農業】収益率の高い品目(ナス/ピーマン/トウモロコシ/キャベツ等)を中心に多品目の栽培に取組み、産直販売所に毎日出荷。別流通も新規開拓し売上アップを行う。

【喫茶】接客マナーや衛生の研修を行うとともに、メニューや価格を見直し、仕入率の改善を図る。

【軽作業】日々の売上目標を明確にすることで就労意識を高めるとともに、製造工程を見直し工期の短縮化を図ることにより製造量を増やし収益の向上を目指す。

②求職活動

昨年度就職者1名、実習1名。ハローワーク等の他機関と連携を強化し、企業実習や就職に繋ぐ。

③健康管理

健康診断結果を基に本人はもとより家族や医療機関と連携して生活習慣の見直しに取り組む。

主要年間行事

4	出発式、内科健診
5	歯科検診
6	ゆうあいスポーツ大会
7	
8	七夕まつり 大分市交流会
9	
10	あおぞらフェスタ 賀来地区交流会 (グラウンドゴルフ)
11	収穫祭 輪い笑いフェスタ インフルエンザ予防接種 ときめき作品展
12	
1	成人祝賀会
2	賀来公民館まつり
3	

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性あり

コンチェルト

就労定着支援事業

事業目標

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業主や障害福祉サービス事業主、医療機関等と連絡調整その他の支援を適切かつ効果的に行うことにより、就労の継続を図ります。

利用者数

現員：3名

職員配置

管理者：1名
サービス管理責任者：1名
就労定着支援員：1名

支援計画

企業と利用者との連絡を密にし、仕事上の悩みなど相談を通して解決に向け調整を行い、継続して就労できるよう支援します。

①職場への定着支援

- ア) 支援機関との情報共有
- イ) 月1回以上対面による支援

③求職活動

- ア) 求人情報の確認
- イ) 履歴書記載、面接等の練習
- ウ) 求職登録の補助

②障害福祉サービス事業者、医療機関等との連絡調整

- ア) ジョブコーチ
- イ) 主治医
- ウ) 相談支援事業所

④その他必要な支援

- ア) 相談及び援助
- イ) 日常生活支援

重点支援項目

①定着率100%の達成

定期訪問（1回以上/月）の際には面談と就労場面を視察。業務内容の確認、合理的配慮の有無等を確認し双方が働きやすい職場となるよう働きかける。また、雇用主と支援員が情報共有できるよう連絡を密に行います。

②他機関との連携

技術の向上や生活面について、必要に応じて他機関（ジョブコーチやヘルパ-）と連携し習熟度や整容等を確認します。

③継続して就職できるための支援

広報紙「シンフォニータイムズ（季刊）」に就職者の活躍や頑張りを掲載することにより、法人関係者が継続的に就職者を応援するとともに仕事への意欲に繋がります。また、将来の希望について就職者同士が語り合うことができるよう会場の確保や日程調整等、自主的な運営ができるよう側面的にサポートします。

主要年間行事

4	
5	語ろう会（仮称）
6	
7	語ろう会
8	
9	語ろう会
10	
11	語ろう会
12	
1	語ろう会
2	
3	語ろう会

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性あり

事業目標 自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動・生産活動の機会の提供及び社会との交流促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に行います。

利用者数

定員：25名
現員：20名

職員配置

管理者：1名
サービス管理担当者：1名
支援員：5名
看護師：1名

支援計画

感染症対策を徹底しながら、活動を通して日常生活力や社会生活力を再構築していきます。

◎基礎的事業

①創作的活動

- ア) 絵画
- イ) 工作
- ウ) 音楽
- エ) 書道(毛筆)
- オ) 書道(硬筆)

②生産活動

- ア) 消毒作業
- イ) 箱折り作業 等

③社会との交流促進

- 交流会、地域交流 等

◎機能強化事業

①機能回復訓練

- ア) ウォーキング
- イ) ストレッチ
- ウ) ベースボール
- エ) ボウリング
- カ) 大玉送り
- キ) 紅白枕叩
- ク) 手指運動 等

②社会生活適応訓練

- | | |
|------------|------------|
| 【社会生活】 | 【日常生活】 |
| ア) 社会生活マナー | ア) 手洗い・うがい |
| イ) 外出活動 | イ) 歯磨き |
| ウ) 調理実習 等 | ウ) 更衣 |
| | エ) 清掃 |
| | オ) 防災訓練 等 |



重点支援項目

①感染症対策の維持

・マスク、手指消毒、手洗い等、身につけた対策方法を利用者が忘れることのないよう引き続き支援する。

②社会生活の練習と実践

・公共交通機関での過ごし方や、施設外の方との接し方等、社会生活マナーについて経験を通して理解できる活動を盛り込む。
・感染症の状況を見て、買い物活動などの地域に出る機会を設け、社会生活力を発揮する場を“Trial and error”で実践する。

③活動の見直しによる環境作り

・利用者の興味を惹くために、新旧の活動を見直し、人数やニーズに沿った内容に改善し、利用者がより積極的に活動へ取り組める環境作りをする。

主要年間行事

4	出発式、内科健診 室外ウォーキング
5	歯科検診
6	
7	
8	七夕まつり 大分市交流会
9	
10	あおぞらフェスタ 本人活動セミナー 賀来地区交流会 (グラントゴルフ)
11	インフルエンザ予防接種 輪い笑いフェスタ ときめき作品展
12	
1	成人祝賀会
2	賀来公民館祭り
3	

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性あり

事業目標

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに生産活動その他の活動の機会の提供、訓練等により就労に必要な知識・能力の向上を図ります。

利用者数

定員：20名
現員：15名

職員配置

管理者：1名
サービス管理責任者：1名
生活支援員：1名
職業指導員：1名
目標工賃達成指導員：1名

支援計画

就労や生活面での研修を行ない、知識・技術を習得するとともに、地域の店舗等を利用することで社会性を高めていきます。

①生産活動

- ア) 軽作業
- イ) 超硬チップの組立て
- ロ) ラッシングベルト解体作業
- ハ) チタン板のカット
- ニ) その他

③就労訓練

- ア) 軽作業（発揮できる工程で集中・効率を高める）
- イ) コミュニケーション（他者との接し方、言葉遣い）
- ロ) 生活訓練（整容、マナー、更衣、衛生等）

②日常生活支援

- ア) 整容・更衣
- イ) 食事
- ロ) 清掃
- ハ) 衛生
- ニ) 運動
- ホ) 金銭管理
- ヘ) 相談支援
- ヘ) 健康管理

④社会生活支援

- ア) 研修（月に1回）
- イ) 企業の見学
- ロ) 社会活動（店舗利用等）

⑤その他の活動

- ア) 防災訓練
- イ) 本人活動
- ロ) 交流会等の行事の参加

重点支援項目

①社会生活支援

公共の交通機関を利用することによる交通移動手段の練習、近隣の店での買い物活動や外食活動等を行うことで、コロナ禍における店内での食事マナーや支払い方法の習得等、経験を積む機会を提供します。また、実施する前に研修を行なうことで知識の向上を図ります。

②就労知識・技術の習得

利用者それぞれが作業目標を立て、一年間取り組むことで新しい技術の習得を目指します。また、職員は治具を作成し、利用者に使用してもらうことで習得しやすい環境を整えます。

③コミュニケーション

外部からの見学者、ボランティア、実習生、地域の方々、様々な人たちと関係性が気づけるようコミュニケーション能力向上（特に挨拶と返事）を図ります。毎日朝礼時に練習する時間を設けて取り組みます。

④安定した工賃の支給

（平均月額25,000円）作業手順を見直し、効率化を図ることで作業受注量を増やしていく。

主要年間行事

4	出発式 内科健診
5	歯科検診
6	ゆうあいスポーツ 大会
7	
8	七夕まつり 大分市交流会
9	
10	あおぞらフェスタ
11	インフルエンザ予防接種 ときめき作品展 輪い笑いフェスタ
12	
1	成人祝賀会
2	
3	

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性あり

ファンタジアもりまち

生活介護事業

事業目標 自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効率的に行います。

利用者数

定員：20名
現員：19名

職員配置

管理者：1名
サービス管理責任者：1名
生活支援員：7名
看護師：1名
調理員：1名

支援計画

感染対策に伴う生活様式を習得するとともに、個々に合った支援を通し、充実した一日を過ごせるよう支援します。

①身体機能向上

- ア) 体力増進
- イ) 柔軟性
- ウ) 健康増進
- エ) その他

②生活能力向上

【日常生活】

- ア) 衛生
- イ) 更衣
- ウ) 整理
- カ) 食事
- ク) 排せつ
- ケ) 入浴

【社会生活】

- ア) 消費
- イ) 移動
- ウ) 調理実習
- エ) その他

③創作的活動

- ア) 絵画
 - イ) 工作
 - ウ) 書道
- 等

④生産的活動

- ア) 作業（箱折り等）
- イ) 環境整備（タオル交換等）

⑤その他の便宜

- ア) レクリエーション活動
- イ) 行事
- ウ) 安全
- エ) 相談等
- カ) 防災訓練

重点支援項目

①社会生活能力の向上

・コロナ禍における新しい生活様式の習慣化（マスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンス等）を図ります。
また、感染対策に留意した上で近隣の店舗へ買い物活動に行くなど、実際に経験する機会を増やすことで社会生活能力の向上を図ります。

②ケアシートの作成

・昨年度の所属会議等で収集した利用者情報をもとに、身支度・排泄・衛生・食事・対人関係等、今現在の本人の様子、その他支援情報をまとめた各利用者のケアシートを作成します。
また、作成したケアシートを職員間で共有し、支援方法に統一性を持たせます。

③生産的活動

・希望する方に作業班を設けて、作業を提供します。作業スペースを設け取り組むことにより、その場の雰囲気や仕事のやりがいを感じる等、就労意欲を高めます。

主要年間行事

4	出発式 内科健診
5	歯科検診
6	
7	
8	七夕まつり 大分市交流会
9	
10	あおぞらフェスタ
11	インフルエンザ予防接種 ときめき作品展 輪い笑いフェスタ
12	
1	成人祝賀会
2	
3	

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性があります。

ヘルパーステーション

居宅介護・行動援護・重度訪問介護

事業目標 障害のある利用者が地域で安心して暮らすことができるよう、生活全般にわたる援助を行います

契約者数

大分市39名・由布市1名

職員配置

管理者：1名
サービス提供責任者：1名
ヘルパー(介護福祉士)：12名
ヘルパー(2級)：1名

支援計画

自宅等において日常生活に必要な支援を提供するとともに災害時等における安否確認などの見守りを行います。

身体介護
食事・排泄・入浴等

家事援助
調理・洗濯・掃除・買い物等

行動援護
行動の際に生じ得る危険回避の援護

通院介助
・通院時における移動支援
・診察室内でのコミュニケーション支援等

重度訪問介護
身体介護・家事援助・外出時等の総合的な介護

電話や訪問による安否確認
台風・地震等の自然災害や体調不良時等の声掛け

重点支援項目

- ◎自宅等において、安心して生活できるよう支援致します。
- ・加齢に伴うふらつき・転倒事故を回避するため車椅子使用等の必要性など個別支援会議を行うとともに他事業所との情報共有に努めます。
- ・感染症対策(換気、手指消毒、マスク着用等)に努めます。

移動支援 (原則 8時～21時)

事業目標 外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加ができるよう、移動支援を行います

契約者数

大分市50名・由布市1名

支援計画

社会生活に必要な外出時の支援を行うことにより地域生活の充実と社会参加を図ります。

社会参加・社会生活のための支援

- ・官公庁や金融機関への外出や公的行事への参加
- ・冠婚葬祭等の地域生活に必要な支援
- ・公共施設や交通機関等の利用支援
- ・買い物・外食など地域生活に必要な支援
- ・映画鑑賞やスポーツ観戦等の支援
- ・レクリエーション等に参加するための支援

- ・移動手段の確認(バス等の時刻・行先等の確認)
- ・ご希望に沿ったサービスの提供ができるよう事前に確認

重点支援項目

- ◎利用者一人一人の目的に沿った移動支援を致します
- ・個別支援会議を行います(加齢にとまなう、ふらつき、転倒、車椅子の使用等を想定・日中活動との連携を図り情報共有に務める)
- ・3密を避けて支援。マスク着用での支援を行いません

事業目標

集団での保育（療育）を通して、児童の発達を促すとともに家族の介護負担の軽減を図ります。

利用者数

定員：10名/日

職員配置

管理者：1名
 児童発達支援管理責任者：1名
 児童指導員：2名
 保育士：3名

支援計画

- ・家庭との連携を図りながら、発達段階に合わせた個別の療育を行い、個々の成長を促します。
- ・母子分離の経験を積みながら、集団活動のなかで他児との関わりを深め、就園・就学に向けた準備を行います。

①日常生活基本動作訓練

- ア) 食事
- イ) 排泄
- ウ) 着脱衣
- エ) 衛生

②集団生活適応訓練

- ア) 朝の会
- イ) 防災訓練
- ウ) 公共マナー
- エ) 当番
- オ) 他者との関わり方

③集団活動における支援

- ア) 音楽
- イ) 絵本読み
- ウ) 絵画
- エ) 粘土
- オ) 工作
- カ) 運動

④その他

- ア) 安全管理
- イ) 相談及び援助
- ウ) 給食サービス
- エ) レクリエーション



重点支援項目

①就園・就学に向けた準備

・自分の身の回りのことができるようになること、友達との関わり方を知ること、ルールのある遊びができるようになること等々、日々の様々な場面を活用しながら多くの経験を積むことができるよう個別・集団両面からのサポートを行います。

・家族が就園・就学に向けた準備を安心して行うことができるよう、関係機関との連携を図りながら家族との日々のやりとりを大切にし、相談体制を整えます。

②専門分野を活かしたチーム支援

職員一人ひとりが自身の資格や得意分野を発揮し、それらを形にしていくことで、視野の広い支援を行うことを目指していきます。児童への支援、家族への支援の両面がより安全で質の高いものとなるよう、会議等職員間での意見交換を大切にしながら、チームで取り組んでいきます。

主要年間行事

4	お花見
5	お外遊び月間
6	おやつ作り
7	プール開き
8	プール活動 水遊び
9	読み聞かせ月間
10	お外遊び月間
11	おやつ作り
12	サンタさんとの交流会
1	福笑い・かるた大会
2	豆まき
3	卒園式

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性あり

コース

大分市障害者相談支援事業

事業目標 関係機関と連携して、障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう相談支援を行います

対象者 大分市にお住まいの障害のある方、ご家族、相談支援を必要とする方

職員配置 管理者：1名(兼)
相談支援専門員：3名(兼3)
相談員：1名(専1)

支援計画

安心して住みなれた地域での生活ができるよう、情報提供やサービスの利用援助等の必要な支援を行います

①福祉サービスの利用援助

⑥専門機関の紹介

②社会資源の活用支援

⑦専門的な相談支援を要する方への支援

③社会生活力を高めるための支援

⑧事例検討会の開催

④ピアカウンセリング

⑨巡回家庭訪問

⑤権利擁護に必要な支援

⑩あんしんコール

あんしんコール

障がいの特性に起因して生じた**緊急の事態等**（急な介助者の不在、虐待、障害者の状態変化等）の相談に応じ、支援者の派遣・宿泊先の確保等を行います。

* 年中無休（平日9時～21時、土日祝9時～18時）

重点支援項目

- ①あんしんコール：3センター（さざんか、きぼう21、コース）で緊急対応に関して検証することで今後活かす。
- ②相談支援事業所の連携強化：相談支援部会のグループ別意見交換会を通して地域の課題を抽出し、連携を強化することで解決を図ります。

特定相談支援事業・障害児相談支援事業

事業目標 障害のある方やご家族のお困りごとを解決できるように、サービス利用などのプラン作りや相談支援を行います

対象者 主に大分市にお住まいの障害のある方

職員配置 管理者：1名(兼)
相談支援専門員：7名(専3 兼4)

支援計画

障害のある方やご家族の想いを伺い、サービス利用などのプランを作り、その方が安心して暮らすことができるよう必要な支援を行います

①サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成

③暮らしの見守り

②支援等の会議の開催（計画、見直し等）

④定期的な研修会・事例検討会への参加による相談支援の質の向上

地域相談支援事業

事業目標 地域生活に移行するための相談支援及び、地域生活を継続していくための支援体制づくりを行います

対象者 地域生活を希望される障害のある方

職員配置 管理者：1名(兼)
相談支援専門員：7名(兼)

支援計画

地域生活のための準備や継続ができるように必要な支援を行います

①地域生活を始める準備の支援

③地域生活での困りごとの相談や必要時の訪問

②地域移行支援計画の作成

④定期的な研修会等への参加

事業目標

利用者が主体性をもって、共同して日常生活や社会生活を送ることができるよう支援します。また、身体の状態に応じて入浴、食事、排せつの介護等の支援を行います。

利用者数

定員：27名
現員：21名

短期入所 利用定員

中尾：3名
中尾Ⅱ：1名
森町：2名

職員配置

管理者：1名
サービス管理責任者：1名
生活支援員：4名
世話人：9名

支援計画

入居者の余暇を充実させるとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、安心して生活ができるよう支援します。

①入居者に対する相談

ア) 生活や仕事で困ったことは一緒に解決

②食事提供

ア) 栄養バランスを考えた朝食、夕食を提供

③健康管理

ア) 定期通院
イ) 服薬管理

④金銭管理

ア) 通帳管理
イ) 金銭出納簿

⑤生活、余暇等の個別支援

ア) 身支度、更衣、整容
イ) 入浴
ウ) 洗濯、清掃
エ) 買い物
オ) ヘルパー利用等

※支援内容や必要に応じて同性職員による支援を行います

⑥緊急時の対応

ア) 医療機関への搬送
イ) 家族への速やかな連絡

⑦職場等との連絡・調整

ア) 休み、体調等の連絡
イ) 職場等の密な連携

重点支援項目

①健康管理

- 健康診断、歯科検診の結果をもとに必要に応じて医療機関を受診し、健康に過ごせるよう支援します。
- 歯科医師に正しい歯の磨き方を教わり、入居者の支援に活かします。
- 個々の年齢に応じたガン検診等を受診し、主治医との連携を図ります。
- 看護師を中心に日々の健康観察を行い、小さな変化も見逃さないようにします。

②入居者の生活の充実

- 支援が必要な入居者でも休日の昼食購入等に出かけられるよう、職員の支援体制を整えます。
- 月/1回程度外部講師によるダンスやストレッチ等を開催し、楽しみながら体を動かす機会を設けます。
- 離れて暮らす家族とも定期的に会えるよう、帰省・面会・墓参等の支援をします。
- 短期入所利用時に不安なこと困りごとは相談を受け、安心して過ごすことができるよう支援します。

③高齢化・重度化に対する支援

- 一人ひとりの状況や必要に応じて関係機関(障害福祉、医師、看護師等)と連携し、安心してホームでの生活が継続できるよう支援します。

主要年間行事

4	誕生日会
5	
6	誕生日会 衣替え(夏)
7	誕生日会 七夕
8	誕生日会
9	誕生日会・お月見 衣替え(秋・冬)
10	誕生日会
11	
12	誕生日会 クリスマス・大晦日
1	誕生日会 正月
2	誕生日会・節分 衣替え(春)
3	誕生日会 ひな祭り

※新型コロナウイルスの感染拡大等により行事の中止や変更等の可能性あり

事業目標

通所等によるサービス利用が困難な方に対して訪問により療育等を提供することで、障害児（者）の福祉の向上を図ります

対象者

大分市にお住まいの療育の必要な方、そのご家族

職員配置

管理者： 1名(兼)
 支援員： 1名(兼)
 外部講師： 7名

支援計画

- ・通所等によるサービス利用が困難な方へ訪問による活動や療育の提供を行うことにより、一人ひとりの利用者が生活リズムを整えたり安心した生活につながるよう支援します。
- ・ご家族が安心した気持ちでご本人の今後の活動や生活について相談したり準備をすることができるよう、必要な情報提供を行うなど相談体制を整えます。

ア) 専門の講師による訪問

・絵画、音楽、読み聞かせ等の専門講師が自宅に訪問し、活動を提供。

イ) 支援員による訪問

・社会福祉士、保育士等の資格を有する支援員がご本人の好きな活動と一緒に取り組むとともに、ご家族の困りごと、不安等の聞き取りを行う。

ウ) 療育担当者による定期訪問

・定期的に療育担当者が自宅に訪問し、ご本人やご家族と面談を行い、今後の療育、支援内容、更には今後の生活についてのプランをたてていく。



重点支援項目

①利用者一人ひとりの状況や気持ちに寄り添った療育活動の提供

ご本人、ご家族の困りごとや要望をお聞きし、無理のないペースで療育活動を提供します。活動だけではなく、時にはご本人やご家族とのコミュニケーションを大切にし、今後の生活について一緒に考えていくことができるような相談体制を整えます。

②訪問療育事業の周知

保健師や相談支援専門員等との連携を大切にし、子どもから大人までのすべての年齢層の、必要とする方に訪問療育事業について情報提供を行います。

年間予定

4	訪問療育
5	訪問療育
6	訪問療育
7	訪問療育
8	訪問療育
9	訪問療育 定期訪問
10	訪問療育
11	訪問療育 定期訪問
12	訪問療育
1	訪問療育
2	訪問療育 定期訪問
3	訪問療育 定期訪問